

京都産業大学の
“今”と“これから”を
お届けします



- 01 学長メッセージ
- 03 進路・就職支援の取り組み
- 09 教員紹介
- 11 学生生活レポート
- 13 KSU CALENDAR
- 15 NEWS 注目の話題をご紹介します
- 17 卒業生インタビュー
- 19 2020年度決算
- 21 2021年度予算
- 22 新型コロナウイルス感染症対策



安全・安心な環境の継続と 先進的学修環境の構築へ。

昨年の「KSU Letter vol.1」では、学長就任のご挨拶をさせていただきます。

前例のない感染症対策に奔走した約1年間、学生の安全・安心を最優先に、京都産業大学では教職員一丸となってさまざまな施策を行ってまいりました。学生にとっても不自由を強いられる状況であったと思いますが、今年度の春学期から徐々に対面授業の数を増やしており、学内で学生の笑顔が見られることを大変喜ばしく感じております。

現在、学内の全施設では、引き続き徹底した感染症拡大防止対策を講じています。学内入構時の検温や休憩スペースでの座席配置の工夫をはじめ、昼食時には職員や有志の学生によるソーシャルディスタンスの啓蒙活動を実施。私もこの活動に日課として参加し、学生に声かけを行っています。また昨年秋にはPCR検査センターの運用を開始し、7月からは希望者に対する学内でのワクチン接種もスタートしました。本学では「学内設備・ワクチン接種・PCR検査センター」を柱とし、学生にも保護者の皆様にもご安心いただける環境づくりを全力で継続してまいります。

さて2021年度、本学は文部科学省の「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に採択されました。これは、デジタル技術を用いた先進的な教育の実現に取り組む大学を支援するものであり、全国の国公立・私立大学等による全252件の申請のうち、本学を含む54件のみが選定されました。本学では「学生自身が成長を

実感できる質の高い学び」を実現すべく教育DX^(※1)の推進に取り組んでおります。

国が目指すSociety 5.0^(※2)へと社会が変化する今、未来を担う学生を育てる教育の場こそ先進的でなくてはなりません。私は本学での学びを、いち早く時代の波に乗ったものとして充実させるべく注力しております。本事業の具体的施策は、データベース用のサーバー等の設備を導入し、学生の諸データを統合・分析することで「教育の質保証」「学修成果の可視化」「Society 5.0時代の教育の実施」に全学をあげて取り組むものです。例えば従来、学生が自身の学修状況を確認できるものは、テストの成績や単位取得の状況であり、「どのような能力が身に付いたか」「何が不足しているのか」ということは考えにくいものでした。データの分析・可視化が進むと、学生は能力の分布を俯瞰的に確認できるようになり、教員はより丁寧な教育を実現できるようになります。

今後も、「学生の成長」を実現する教育改革として、デジタル技術を活用する未来社会を見据えた教育の実施や、これを支える先進的な学修環境の整備やBYOD^(※3)などの取り組みを先駆的に進めていきます。そして、本学の強みであるワンキャンパスを生かし、これからも学生と卒業生が誇れるような、新時代を牽引する学びの場であるべく前進してまいります。

学長 黒坂 光
AKIRA KUROSAKA

※1 Digital Transformation(デジタルトランスフォーメーション)。データやデジタル技術の活用から新たな価値を創造していくことを意味します。
※2 AIやIoT、ビッグデータなどの革新技術があらゆる産業や社会に融合し、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の新たな社会の姿です。
※3 Bring Your Own Device(ブリング ユア オウン デバイス)。現代は学生一人一人が自分のパソコンを授業に持ち込んで学習する時代です。本学では、学生が持ち込むパソコンで教育研究用サーバが活用できるよう、キャンパス全域に無線LANを完備。これによって大学の教育資源をキャンパス、自宅、海外からでも利用できる環境が整っています。



進路・就職支援の取り組み

CAREER / EMPLOYMENT SUPPORT

進路・就職支援センター長メッセージ

副学長・理学部教授
山田 修司
SHUJI YAMADA

常に体制強化を図り

学生と共に未来を考え、全力で支援しています。

就職活動とは、大学で培った能力を使い、社会で雄飛するための助走のようなものです。

ゆえに本学の就職支援では、採用試験への合格(内定獲得)そのものではなく「学生自身が未来を見据え、満足度の高い就職を叶えてもらう」ことをモットーに、ベストマッチする進路を共に考え、徹底的にサポートしています。

さて、コロナ禍の混乱にもかかわらず、今年度も4年次生は意欲的に就職活動を展開しており、当センターにも嬉しい報告が続々と

届いております。しかし中には、就職活動をスムーズに開始できなかった学生も見受けられます。就職先が決まっていなかったご子孫を案じる保護者の方もいらっしゃると思います。ですが、まだ大丈夫です。本学では毎年度、4年次生向け企業説明会を3月まで継続的に実施し、卒業式当日も求人紹介フェアを開催しています。過去にはこれらを機に内定を獲得した学生も見届けてきました。これから就職活動を始める3年次生も含め、私たちはいつでも全力のサポート体制を整えていますので、ぜひ当センターを頼っていただ

きたいと思います。一方で、1・2年次生の学生に対しては、まずは「学び・経験・成長」を意識する日々を送ってほしいと考えています。学業や課外活動など学生時代ならではのキラキラとした時間を通じ、より豊かな人に成長していただきたい。そこで得た経験は、将来を力強く生きる力そのものになるからです。当センターでは4年間を通じて未来を見据えてもらえるように、近年は学部教員との連携強化にも力を入れ、教員指導や学部別ガイダンスの開催など強固な体制の構築に尽力しています。

■進路決定までのスケジュール (2021年度現在)

就職活動は年々早期化する傾向にあり、実質的なスタートは3年次の夏のインターンシップと言えます。京都産業大学では、充実したカリキュラムと独自のキャリア形成支援プログラム、そして強固な進路・就職支援を強みに、学生の4年間をバックアップしています。

	1年次	2年次	3年次	4年次
学生自身の取り組み			学業(単位の取得)	
学生自身が取り組めること(就職活動関連)	●全学キャリア科目の受講 ●低年次向けインターンシップ、就職関連イベント等への参加		●就職ガイダンス、各種企業説明会への参加 ●筆記試験対策、面接試験対策 ●自己理解、仕事理解 ●インターンシップ参加(夏/秋冬)	就職活動本格化
進路・就職支援センターの支援	●情報提供 ●低年次向けイベント開催(各学部)		●就職ガイダンス ●各種セミナー(自己分析、業界研究、面接対策等) ●学内企業説明会 ●個別面談(オンライン/対面)	●学内企業説明会
企業側の動き	●低年次向けインターンシップの実施		●インターンシップ ●3月1日:採用活動解禁	●採用活動

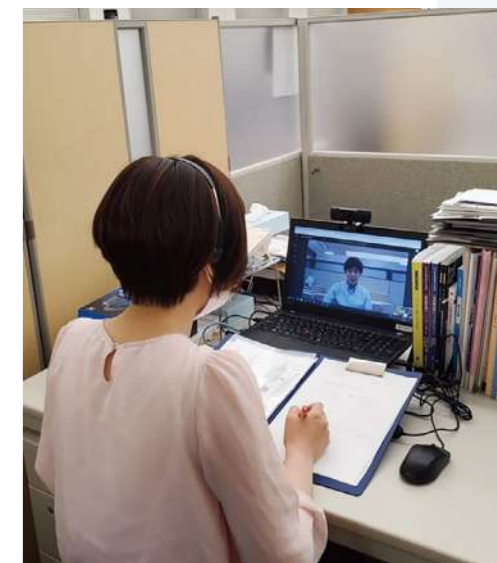
- Point 1** 本学では、1・2年次では多くの体験や経験を重ね、自分の幅を広げることが重視されています。自らの将来を思い描いたり、興味のある業界の情報に触れたりすることで充実した学生生活を過ごせます。目指す業界や職種が明確な場合は、2年次頃から筆記試験対策に取り組むことが理想です。
- Point 2** 視野を広げるために、インターンシップ等にも積極的に参加することを勧められています。
- Point 3** 余裕を持って就職活動をスタートするために、個別面談は早い時期からの活用を推奨しています。少しでも迷うことがあれば、いつでも、何度でも進路・就職支援センターへ!
- Point 4** 例年、内々定が出るピークは4月・6月ですが、多くの企業が翌年春まで採用活動を実施しています。

進路・就職支援センター スタッフより コロナ禍が続く今年度の就職活動について

全体の求人数はコロナ前と同程度。
オンラインと対面、選べる個別相談も学生から好評です。

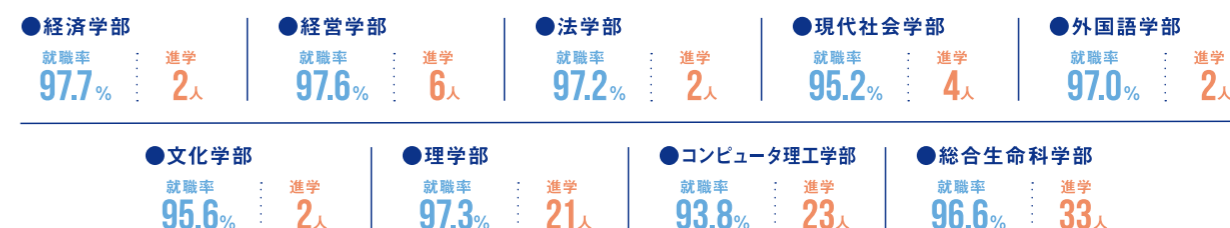
世間ではコロナ不況のニュースが報じられ、ご子孫の就職活動を心配される保護者の方も多いと思いますが、ご安心ください。2021年度の本学への求人数はコロナ前と同程度です。旅行や航空、ホテル関連など募集が減った業界・業種もありますが、求人数増の業界もあり、全体で見ると大きな変動はありません。

さて、当センターでは昨年より個別相談にオンライン方式を導入しました。現在は対面式とオンライン式から選択できるようにしており、多くの学生に活用されています。そんな中、最近増えた相談内容が「コロナ禍で課外活動やインターンシップに参加できず、就職活動でアピールすべき「学生時代に頑張ったこと」がない」というものです。ですが、アピールポイントは特別なことでなくて良いのです。例えば、慣れないオンライン授業で自分なりに工夫した勉強法や、外出自粛期間中に資格取得に取り組んだことなど、コツコツ頑張ったことは立派なアピールポイントです。学生自身はなかなか気付けないところですので、ご子孫からこういった声があれば、ぜひ保護者の方からお伝えください。

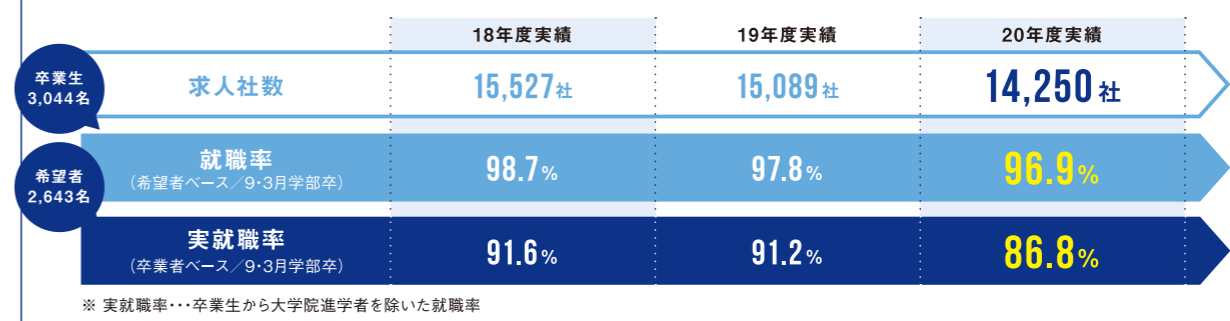


就職・進学情報

毎年、本学では学生一人一人がしっかりと進路に向き合い、希望を持ってキャンパスから羽ばたいていきます。2020年度学部別就職率・進学率は以下の通りとなりました。



■本学の就職状況(求人社数・就職率)



主な就職先や各業種の割合など、就職状況については、本学Webサイトに掲載しています。

<https://www.kyoto-su.ac.jp/career/shinro/toukei.html>



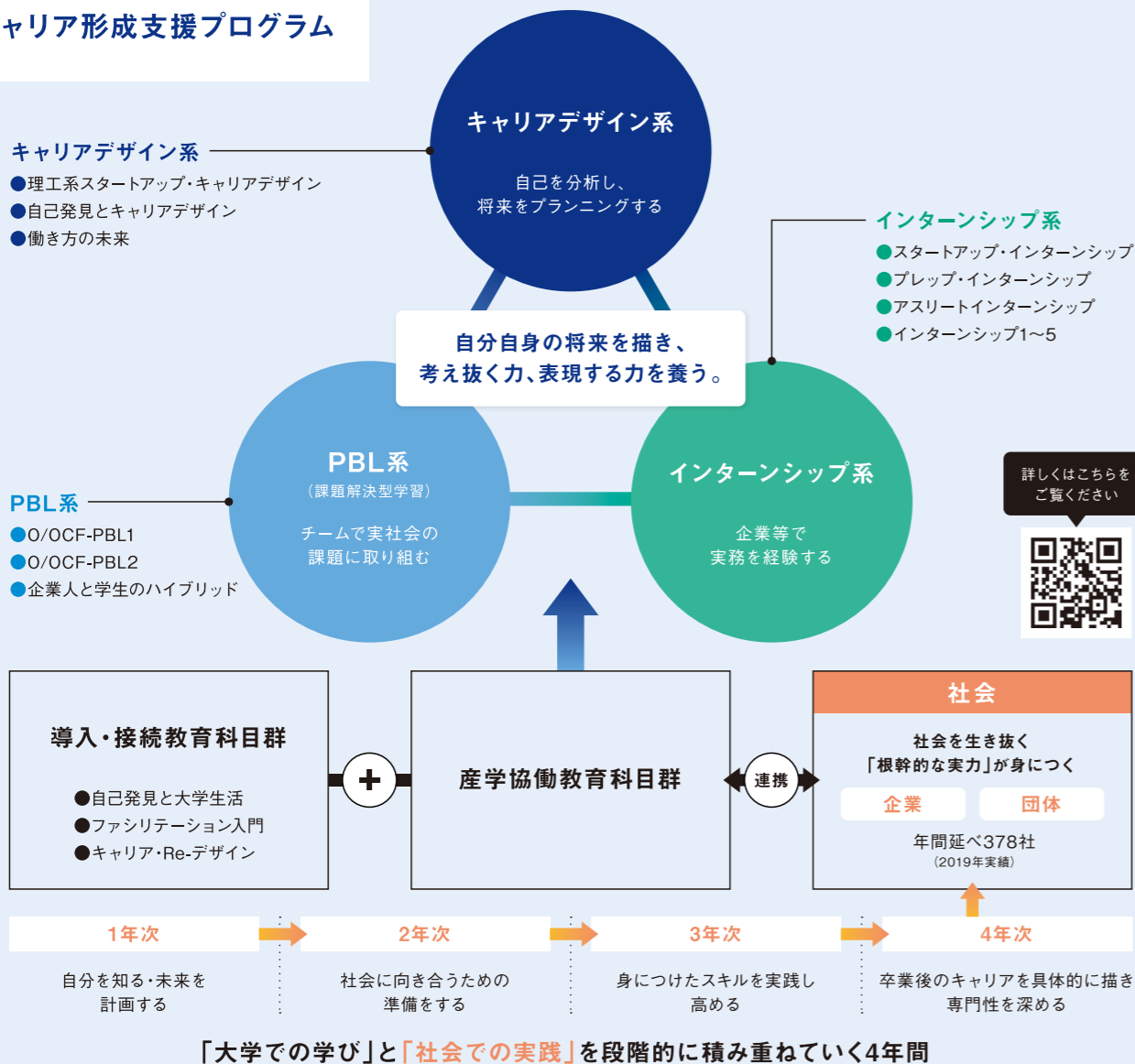
京都産業大学のキャリア形成支援教育

京都産業大学は常に日本の大学のキャリア教育をリードしています。

京都産業大学では1990年初頭、他大学に先駆けてキャリア形成支援教育を開始しました。1999年には、インターンシッププログラムを正式な科目として開講し、当時から直接的な就職支援としてではなく、社会を生き抜く「根幹的な実力」の育成を目指す「教育」として位置づけ、取り組んできました。

「大学での学び」と「社会での実践」を段階的に積み重ねていくことで、学生の個性や自主性を養い、自ら考え行動する「社会で活躍できる人材」を育成しています。科目としては大きく「導入・接続教育科目群」「産学協働教育科目群」に分かれ、「産学協働教育科目群」については、科目の特徴に基づき「キャリアデザイン系」「PBL系」「インターンシップ系」の3つに系統立てています。

キャリア形成支援プログラム



「大学での学び」と「社会での実践」を段階的に積み重ねていく4年間

今回は京都産業大学の「インターンシップ系」科目についてご紹介していきます。

インターンシップとは？

インターンシップとは、学生が、企業・団体等で一定期間、就業体験を行うプログラムを指します。社員の方と接し、実際の仕事を体験することで、仕事のやりがい、業種や職種による業務内容の違い、会社の風土を体感することができる機会です。これらの経験を通じて、企業や仕事の実態を知り、キャリア選択の視野を広げることに加え、大学の学びが実社会でどのように生きるのかを体感し、実習後に学習意欲が向上することも狙いとしています。

INTERNSHIP

インターンシップ

■京都産業大学のインターンシップ系科目一覧

(※2021年度8月時点)

1年次	2年次	3年次	4年次
スタートアップ・インターンシップ	プレップ・インターンシップ	アスリートインターンシップ	インターンシップ1~5
学生のみで企業を訪問し、2度のインタビュー調査、見学型インターンシップを経て、企業の働く場としての魅力を「魅力発信レポート」として作成・発表します。	一定の職場見学を通じて、問題発見(解決)のための基礎的な知識・スキルを身につけることを目的としています。	夏期休業を利用して、海外にある日系企業や現地企業・団体等で3週間から1ヵ月程度のインターンシップを行います。	体育会クラブ所属学生に特化したプログラムで、1~2月に5日間のインターンシップを行います。また、その前後で実施する事前・事後学習において、競技生活で日々磨いている自身の強みを自覚し、言語化することを目的としています。
1(国内企業等) 2(国内行政機関等) (公財)大学コンソーシアム京都が主催するプログラムと連携した科目です。	3(国内) 国内企業・団体等で、夏期休業中に2週間程度のインターンシップを行います。	4(海外)	5(自己開拓型) 企業・行政等が独自で募集を行うインターンシップから、学生自身が希望の実習先を探し、実習許可を得る自主的な活動を支援します。

インターンシップ3(国内)

体系的な学びを通じ、学修意欲や就業意欲を向上させる 本学独自のインターンシッププログラム

本学が独自に協力を依頼した、国内の企業・団体での2週間(実質10日間)程度の「就業体験」と、その前後の学内での学習を組み合わせたプログラムです。事前学習では目標設定、企業・業界研究、ビジネスマナー講義など(5日間14講)、事後学習では就業体験が

ら得た学びの振り返り、成果報告(2日間6講)を行います。この学習プログラムを通して、企業・業界、仕事内容の理解や自身の興味・適性を知ること、今後の学生生活や卒業後の進路を考えるきっかけとなり、学修意欲や就業意欲の向上につながっています。

■国内インターンシップの授業の流れ



進路選択・就業意欲の向上



事前学習の授業風景

1年次に「スタートアップ・インターンシップ」を受講

自分が知らない企業の魅力に触れて将来への視野が広がりました。

経営学部 マネジメント学科 1年次生(取材当時) 原川 快土さん

最初の2日間は社員の方へのインタビューと企業研究、その後は他の学生と一緒に店舗の見学と実務を体験しました。話題が広がる質問の仕方や相手に応じた情報の伝え方など、社会で求められるコミュニケーションの難しさを実感しました。今回の経験で、自分が知らなかった企業にも魅力ある企業がたくさんあることに気づき、就職先に対する視野が広がりました。



3年次に「インターンシップ3」を受講

私にとって本当にやりたい仕事明确了くなりました。

総合生命科学部 生命資源環境学科 4年次生(取材当時) 塩崎 真子さん

3年次の夏、大手食品企業でのインターンシップに参加しました。私にとって特に重要だったのは、このインターンシップが「大学の科目の1つ」であったこと。就職活動ではなく、あくまで授業の一環だったからこそ「自分が企業に求めるもの」を冷静に振り返り、質問も率直にできました。さらに実際に企業の現場へ飛び込むことで、働くイメージも明確になっていきました。その後、志望する企業への就職が決まりましたが、この科目に参加できていなければ、結果は全く違ったものになっていたと思います。



詳しくはこちらをご覧ください



なぜ? 京都産業大学の学生への評価が高い理由

学生1人あたりの求人社数は、6.47社(2020年3月卒業生実績)と全国平均を大きく上回っています。

企業からの高い評価を支えるのが、産業界と密接に連携・体系化されたキャリア教育と、進路・就職支援センターのサポート体制、

そして企業で活躍する卒業生が、後輩たちを助ける「プラスの循環」です。

このように「就職に強い京都産業大学」が積み上げてきたノウハウが「学生と企業のベストマッチング」を生み出し、

企業や自治体からの信頼につながっています。

<p>就職率 (就職者数/就職希望者数)</p> <p>96.9% 2,560人/2,643人</p> <p>(2020年度実績)</p>	<p>就職実績</p> <p>全国1,700社以上</p> <p>(2020年度実績)</p>	<p>就職協定の締結</p> <p>20府県</p> <p>(2021年5月現在)</p>	<p>学生の卒業後 進路把握率</p> <p>100%</p> <p>卒業予定者全員とコンタクトを取り、進路・就職状況の把握に努めています。未内定の学生に対して手厚くサポートしていくことが可能です。</p>
<p>就職率 ランキング</p> <p>全国6位 卒業生2,000人以上</p> <p>朝日新聞出版 「AERA MOOK 大学ランキング2021」より。</p>	<p>学生1人あたりの 求人数</p> <p>4.84社</p> <p>全国平均1.53社(学生1人あたりの求人社数) (2021年3月卒業生実績)</p>	<p>Uターン就職率</p> <p>33.1%</p> <p>(2020年度実績) 進路・就職支援センターにUターンコーナーを設置、自治体と就職支援協定を締結し、相互に連携しながら企業の情報、各種イベントの周知、セミナー・説明会の開催などの取り組みを行っています。</p>	<p>面倒見が良い大学 ランキング</p> <p>西日本5位</p> <p>サンデー毎日増刊 「大学入試に勝つ! 2021年度版」より。 西日本順位は本学独自集計。</p>

詳しくはこちらをご覧ください



内定を獲得した先輩や企業で活躍する卒業生がワンチームでサポート

就職活動が本格化する3年次生の秋以降、内定を獲得した4年次生が学生就職アドバイザーとして、進路・就職支援センターの一角に常駐し、就職活動に関する個別面談に他、冬には学生就職アドバイザーの企画で「就活祭」を開催。模擬面接や模擬グループディスカッション、就職活動体験談のイベントを実施しています。

「就活祭」の中でも社会で活躍中の卒業生アドバイザーが駆け付ける「OB・OG訪問会」企画は、社会人の視点から就職活動のアドバイスをもらえることもあり、多くの学生でにぎわっています。「先輩にしてもらったことを、後輩たちへ返したい」と、サポートし合う伝統が、京都産業大学の高い就職実績を支えています。

就職活動時に学生就職アドバイザーを利用

手厚い支援制度の中でも、特に身近で気軽に相談できる存在です。

理学部 宇宙物理・気象学科 4年次生 木佐貫 葵さん

学生就職アドバイザーは在学生の先輩だから、とても身近な存在。気負わず何でも相談できてありがたかったです。「自分の時はこうだった」「もし1年前に戻るならこうする」といった具体的なアドバイスは、まさに就職活動で同じように悩んだ先輩ならではの。面接日程の決め方や、「同業種を志望する仲間をつくって情報を共有すると良い」など、インターネットには載っていないようなコツも教えてもらい、とても役に立ちました。今の時代に沿ったキャリアの描き方を教わったおかげで、視野を広く持ち、自分に合う企業を探すことができました。



現状を確認し、本人の希望を聞いてあげてください

就職活動についてご子女と話す場合、まず就職環境をめぐる今の社会状況を、保護者の方にもご確認いただきたいと思います。その上で、学生本人の希望や意見をじっくり聞いてあげてください。早い時期に内定を得ることが全てではありません。秋以降や卒業間際まで粘り強く就職活動に取り組み、希望する進路を勝ち取るケースも多くあります。もし就職活動がうまくいっていない様子であれば、そんな時こそ焦らず、共に問題点を探し、人生の一番身近な先輩として励ましてあげてください。きっとご子女は保護者の支えを感じることで勇気が湧き、困難に立ち向かうことでしょう。直接話すことが難しければ、ご兄弟・ご姉妹やご親戚など身近な方を交えるのも効果的です。

学生から見える社会は意外と狭いものです

アルバイトに励む学生は、その社会経験から自身の成長を実感し、その仕事が自身にベストマッチであると捉えてしまう場合があります。ですが、世の中には彼らが思う以上に多種多様な仕事があり、マッチングの可能性は無限大に存在します。私たち進路・就職支援センターは、より多くの社会を知り視野を広げてほしいと考えます。そのために有効な手段として助言しているのが、インターンシップや企業訪問です。未知の世界に触れることで、より広い視野で物事を見られるようになります。もし機会があれば、勧めてあげてください。

余裕を持った単位取得。就職活動と同じくらい大切です

毎年、残念ながら、せっかく内定を得ても単位不足で卒業できない学生がいます(2020年度は91名)。就職活動も大切ですが、学生の本分はあくまで学業。就職するためには、まず卒業することが絶対条件です。単位取得の望ましいペースは、3年次生終了時点で100単位以上が目安と言えます。もしご子女の単位数に不安がある場合、保護者の方からもぜひ、卒業に向けて注意喚起してあげてください。また留年者は、友人が少なく周囲からの情報が不足しがちな点や、単位取得と就職活動にバランス良く取り組めないことなどから、就職活動に苦戦する傾向が強まります。

過保護は禁物。自主性を損なう行動は失敗のもとです

コロナ禍により、学生を取り巻く就職環境には大きな変化が起こりました。業界ごとに求人数の大幅な増減が生じ、また、企業側の採用活動は、より早期化・厳選化が顕著となっています。そんな中、実は「親から会社への応募方法の問い合わせ」「企業選択における保護者の過度な介入」など、心配しすぎた保護者の行動が招く失敗例は数え上げるときりがありません。「心情はよく理解できますが、ご本人の自主性が損なわれ、決して良い結果とはならないでしょう」とは、ある人事担当者の談です。学生の積極性や自主性を尊重してこそ、本人のための就職に繋がります。

4年次生のご子女の保護者さまへ

まだまだ就職は間に合います! ご連絡ください!

学生が自身の就職活動にまい進するマラソンランナーなら、私たちは一緒に走る 伴走者。
京都産業大学で一緒にご子女の夢を叶えましょう!

求人に関するお問い合わせ先
進路・就職支援センター(13号館4階)

Tel: 075-705-1441 Fax: 075-705-1442
Mail: ace-kyujin@star.kyoto-su.ac.jp



教員紹介

PROFESSOR



文化学部 京都文化学科
准教授

ペレッキア デイエゴ

PELLECCHIA DIEGO



情報理工学部 情報理工学科
教授

河合 由起子

YUKIKO KAWAI



能楽の世界に魅せられ
日本へ移住したペレッキア准教授。
諸外国での豊富な経験と
古典芸能の担い手という立場から、
「生きた学び」を学生に届けています。
学外でも講演やワークショップなどを
精力的に展開中。

——学生への殻を破る存在として

日本に移住して約9年、日本の海外との交流姿勢には独特な感覚があると感じています。欧米各国と比べ、日本は歴史的に比較的クローズドな国です。だからこそ独自の文化を築いてきたわけですが、そういった土壌からか、学生の多くが世界に興味を持ちつつもどこか殻を作っている印象です。教員である私の役目は、その殻を破り世界の多様性を紹介すること。特に外国人教員は、存在からダイレクトにダイバーシティを感じてもらえるのではと自負しています。

——世界への発信力とは単なる英語力ではない

文化学部での学びは「京都を通じて日本文化を追究し、世界へ新たな価値を発信する」ことであり、世界での共通言語といえば英語です。そこで私が重視しているのが、言語を習得するための学びではなく、実社会で生かせる表現力を身に付けることです。例えば神社の鳥居を説明する際、難しい説明を添えなくても「GATE(門)」で多くの外国人が理解できます。世界へ発信するとき、受け取る相手の母国語が英語とは限りません。相手の背景を思いやり、伝わる言葉を選ぶ。そういった感覚を備えることこそが真の国際性に通じると考えるのです。

——能楽文化を通し、現場感あふれる学びを

私は能楽の担い手でもあるので、能楽文化を通じた学びを多く提供しています。昨年度のゼミでは、能楽協会京都支部と連携して海外観光客向けの京都MAPを作成しました。野宮神社や鞍馬寺など、演目に縁のある施設を楽しく巡りながら能楽への理解を深めてもらうリーフレットです。内容から構成、紹介文章、写真まで全て学生が手がけたもの。コロナ禍であったためオンラインで打ち合わせを行い、学生それぞれが現地取材して完成に至りました。また、今年度からは学生が立ち上げる能楽サークルの顧問を務める予定です。私という存在が、学生にとっての文化との架け橋になれることをとても嬉しく感じています。素晴らしい伝統文化への深い理解と、自ら考え発信できる力を、学生に充実した4年間を提供できるよう、これからも尽力していきます。



社会に役立つ情報提供システムを
研究する河合教授。
次世代のパイオニアを育てるべく、
最先端技術を取り込みながら
学生や諸機関と共に
新たな技術開発を進めています。

——新たな情報提供システムで社会貢献を

私の研究テーマは「情報のパーソナライゼーション」です。同じ話題でも必要な情報は人によって異なり、使う人に合致した情報を提供できれば毎日をもっと便利になります。そこでビッグデータとAIを掛け合わせ、新しい情報提供システムを学生と共に開発しています。近年の主な研究材料は、人々がWebで発信するSNSデータです。SNSデータは言語や国、地域性を超えてさまざまな情報や人の思考が反映されたものです。これらを分析・利用することで、より活用度の高い情報の提供を目指します。開発例を挙げると、見知らぬ土地へ出かけるときでも安全なルートを検索できるアプリ。通常の地図では、実際の治安や危険エリアを察知できません。そこで海外都市の犯罪データとそれらに関連するSNSデータを分析し、時期や時間帯によって異なる安全なルートが表示されるマップシステムを作りました。



——新しい価値を生む思考力を育てる

研究には「新規性」「有用性」「信頼性」が大切です。本学の学生に向けて特に、「有用性」の重要性を伝えています。研究成果といえば新しい技術や発見を想像しがちですが、例えば既存の新しい技術を組み合わせることで社会に役立つものを生み出すことは、変化の激しいIT分野での柔軟な対応を可能にします。ゼロからイチを生み出すことも素晴らしいですが、イチをどのように組み合わせるかを思考し、新たな価値を生み出す力もまた素晴らしいものです。学生にはいつも思考力の大切さ、そして常に最新の研究にアンテナを張り思考を巡らせる大切さを伝えています。

——挑戦する学生を応援する喜び

本学の学生を見ると、能力は高いのに、それを前面に出さない謙虚なタイプが多いように感じます。とてももったいないですし、自分の学びや研究を自信を持って発信できることは、就職活動でも社会で活躍するためにも大切です。そこで学生を指導する際には、自信を育てること、そして挑戦する力を養うことを心がけています。世間から認められることも大きな自信につながりますので、学会やフォーラムなど、成果発表の場への参加を積極的にバックアップしています。学生が何かに挑戦する姿を見ることに、大きな喜びを感じます。



PROFILE

工学博士。大学院時代、苦勞して迎えた初の国際会議発表で大きな達成感を覚え、研究者を志す。データ工学を専門とし、主な研究は「データ分析と可視化」。パーソナライゼーション(個人適応技術)をテーマに、さまざまな分野で「個人が必要とする情報提供」を実現すべく、ビッグデータとAIを活用した情報検索・情報提供技術の研究を進める。2018年からクロスアポイントメント制度で大阪大学の特任教授も務める。



PROFILE

イタリア出身。子供の頃から外国に興味を持ち、大学では外国語学部を専攻。英国ロンドン大学ロイヤルホロウェイ校演劇学部で博士号を取得。2006年、イタリアで能楽に出会い、翌年に初来日。金剛流能楽師 宇高 通成師に師事始める。2017年より本学へ着任。能楽世界を研究しながら、自身も能楽の舞台に立つ。

INTERVIEW
01

坂本美夢さん
文化学部 京都文化学科
2年次生(宮城県出身)



想像した大学生活とは少し違うけど、
きちんと学べているので満足しています。

学修環境が大きく変化した今、京都産業大学の学生たちは、学びの時間や日常生活



をどう過ごしているのでしょうか。日々の様子について2人の学生に取材しました。



学部で見つけた夢に向かって、
日々研究を続けています。

INTERVIEW
02

高木祐輝さん
情報理工学部 情報理工学科
4年次生(大阪府出身)

春から一人暮らしを始めました

1年次は大学の学生寮で暮らし、この春から一人暮らしをスタートしました。最近ようやく家事に慣れてきて、自分のペースがつかめてきたところです。大学へは、週2回の対面授業の時だけ通学しています。オンライン授業は基本的には自宅で受講しているので、今でも時間には気を付けています。

今年の春、1年遅れの入学式!

昨年3月の下旬に、宮城県から引っ越してきました。しかし、入寮してすぐに休校が決定。一度地元へ帰省し、初めて大学に行ったのは秋学期になってからでした。同級生とはオンライン授業で顔を合わせていましたが、直接会えた時のうれしさは大きくて、週に1度「フィールド演習」という対面の授業があり、通学するのがとても楽しみでした。そして今年の春、1年遅れで私たちの入学式がありま



した。入学前に親に買ってもらったスーツを着られたことが、すごくうれしかったです。ようやく入学した実感がわき、友達とたくさん写真を撮りました。

オンライン授業は、今や日常です

高校時代までパソコンになじみがなく、最初はインターネット環境を整えるのにも苦労しました。ですが、今ではパソコンで授業を受けることが日常に馴染んでいます。対面授業で友人と会える時間はやはり格別ですが、学びの面でいえば、オンラインならではの良い面もあります。例えば授業の録画データのオンデマンド配信があること。先生の説明をさかのぼって確認できるし、自分のペースで勉強を進められるのがメリットだと思います。また学期末の試験がない代わりに、日頃の課題が重要です。コツコツ取り組みがきちんと評価してもらえる点が良いです。

自由時間の過ごし方は……

家族や友人とは、電話やビデオ通話で頻繁に連絡を取っています。特に家族は、遠い場所への進学を応援してくれたので、毎日のことをきちんと報告したいと思っています。ビデオ通話で実家の犬を見せてもらうのも楽しみの一つです。また空いた時間には、就職活動に備えてSPI試験対策と英語の勉強を進めています。これは兄からのアドバイス。

早めに取り組むといいと教えてもらったので、意識して時間をつくるようにしています。

これからチャレンジしたいこと

私が文化学部を目指したのは、茶道や生け花など“本物の日本文化に接する授業”が豊富にあることに魅力を感じたからでした。コロナ禍が落ち着いて、そういった授業を受けられることが待ち遠しいです。また、せっかく古都・京都にいたので寺社や歴史のあるお店などを巡りたいです。まだまだ学生生活は続くので、在学中にいろんなことを経験していきたいです。

夢は、地元・宮城県の魅力を世界へ発信する仕事に就くこと。そのために英語の勉強を頑張っています!

坂本さんのキャンパスライフ

- 7:00 起床、朝食(自炊)
- 8:30 シャトルバスで通学
対面授業(1限目)
- 10:30 自習スペースで課題
- 12:00 学内の食堂で昼食
- 13:00 帰宅、午後のオンライン授業
- 16:30 課題や散歩
- 20:00 夕食(自炊)
- 21:00 家族や友達と電話、自習
- 24:00 就寝



こんな毎日を過ごしています

私が所属するゼミのテーマは、3Dプリンターやレーザーカッターでモノづくりをする“デジタルファブリケーション”という分野で、オンライン方式では学業が進みません。私は、大学に自転車を通える距離で一人暮らしをしているのですが、研究目的であればキャンパスへの入構が許可されているので、今年は週3日ほど大学に来ていました。またこの春からは、学内のデジタルものづくり施設「ファブスペース」で補助スタッフのアルバイトも始めました。機材の使い方を教えたり、作りたいアイデアを持っている人のモノづくりをサポートしています。

日々の努力が評価される!

昨年、オンライン授業が決まった時は、やりたいことが自由にできず少し悲観的になっていました。しかし、情報理工学部という学



部がオンライン授業にはすぐ慣れることができました。個人的にコロナ禍で大きく変わったことの一つに学期末試験がなくなったことがあります。しかし、試験がなくなった代わりに課題提出が成績に反映されるため、コツコツと取り組んだことが評価される様になり良かったと感じています。

一人暮らしで大切にしていること

日々の生活リズムを崩さないよう、毎朝必ず太陽を浴びることを心がけています。また、ワンルームの部屋に住んでいることから、勉強するのと同じ場所になってしまうので、気分転換と運動不足解消を兼ねて、家の近所を散歩するようにしています。ステイホームと言われ出したばかりの頃は、感染症という未知への恐怖でできるだけ家から出ないようにしていました。でも今は散歩したり通学したり、新しい日常にも慣れたかなと思います。もともと一人で過ごすのが苦ではないので、比較的楽しく暮らしています。また、私の地元は大阪なので、帰ろうと思えば週末に帰れる距離ですが、あまり帰省はしていません。その代わりに家族への連絡は欠かさないようにしています。

大学院へ進学して研究を続けます

大学院に進学します。春頃までは就職するつもりでしたが、研究室の先生から大学院

への学内推薦の条件を満たしていると教えてもらい志望を変更しました。親には急に相談して驚かせてしまいましたが、わざわざ直接会いに来て「応援する」と進学を認めてくれた時は、とてもうれしかったです。私は1年次の授業がきっかけで、現在の研究テーマであるデジタルファブリケーションに惹かれました。モノの設計やデザインをしています。いろんなアイデアを出しながらデザインに落とし込んでいく過程に醍醐味を感じています。学部で興味のある分野に出会えたので、ぜひ大学院でも研究を進め、将来の道につなげたいと思っています。

キャンパスの敷地内にいる方が勉強のやる気が続くので、対面授業日は時間が許す限りキャンパスで過ごすことが多いです。

高木さんのキャンパスライフ

- 7:00 起床、朝食(自炊)
- 9:00 オンライン授業
- 10:30 登校、研究や課題に取り組む
- 12:00 学内の食堂で昼食
- 13:00 研究や課題
学内アルバイト
- 18:00 帰宅、夕食(自炊)
- 20:00 自由時間
(音楽鑑賞、ゲームなど)
- 23:30 就寝



KSU CALENDAR

京都産業大学の一年を
写真とともに紹介します

入学式

全10学部・9研究科が一つのキャンパスに集う京都産業大学。
期待に胸をふくらませ、大学生活が今始まります。



APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
春学期						秋学期					

— 履修登録 — 4日 創立記念日
1日 学年始め
新入生学生証等交付
2・3日 入学式
4日 新入生オリエンテーション
13日 授業開始

30日 授業終了

— 学業成績表の送付 —
8・9日 在学生ガイダンス
18日 春学期卒業式(学位授与式)
19日 春学期終了

20日 秋学期始業
27日 授業開始

オンライン学修相談会

※従来は対面での相談会を実施しておりましたが、今年度はオンラインにて実施致します。詳しくは裏表紙をご確認ください。

神山祭
10.30 11.1

25日 授業一旦終了

6日 授業再開
26日 授業終了

— 学業成績表の送付 —
19・20日 卒業式(学位授与式)
23・24日 在学生ガイダンス
31日 学年終了(秋学期終了)



創立記念日

創立当初は経済学部、理学部の2学部からスタートし、現在は10学部・9研究科を擁し約15,000名の学生が集う一拠点総合大学となっています。



神山祭

学生たちが日頃の成果を発表する関西最大級の学園祭「神山祭(こうやまさい)」。
模擬店・部展・ステージ発表・ライブパフォーマンスなど楽しいイベントが行われます。



卒業式

大学生活で得た経験を糧に
このキャンパスから社会へ大きく羽ばたいていきます。



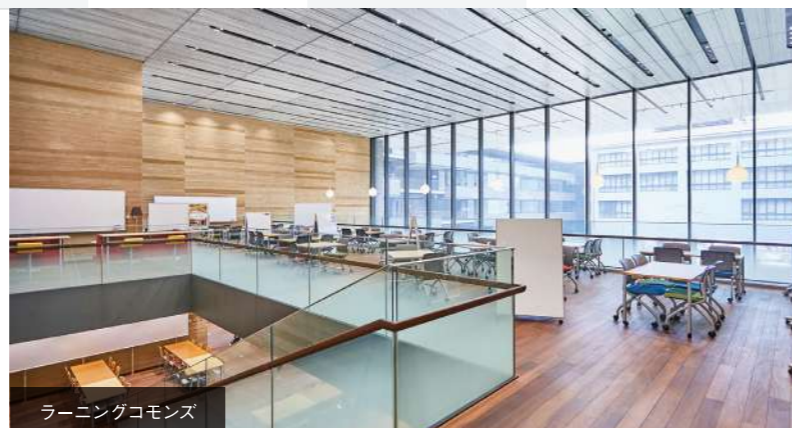
施設紹介

各施設の詳細はこちらからCheck



4つの commons

本学には、「ラーニングcommons」「グローバルcommons」「スチューデントcommons」「ナレッジcommons」の4つのcommonsがあります。
それぞれ特色を持つ学習空間であり、個人やグループでの学習スタイルに合わせた利用、設備や学習サポートの活用など、学びを支援しています。



ラーニングcommons



グローバルcommons



スチューデントcommons



ナレッジcommons

東大寺の正倉院をモデルにした約114万冊を蔵書する図書館
図書館



大学所蔵品の常設展やテーマを定めた企画展を開催
ギャラリー



モノづくりを日常的に行える学びの場
ファブスペース



国内私立大学最大の反射式望遠鏡を備えた天文台
神山天文台

NEWS 注目の話題をご紹介します

NEWS & TOPICS

最新NEWS一覧は
こちら



学生による意欲的な取り組みや設備の充実、学術的發展など京都産業大学は日々、活発な活動で未来に向けて進んでいます。2020年秋から1年間にわたる本学の注目ニュースをお伝えします。

TOPICS 01 PCR検査センターの 開所式を開催

2020年10月



本学ではより安全・安心なキャンパス作りの一つとして、PCR検査センターを設置しています。2020年10月19日、PCR検査センターの開所式を雄飛館で開催。株式会社島津製作所の上田輝久代表取締役社長、京都府の西脇隆俊知事らにもご出席いただきました。同センターは11月から運用を開始し、本学学生、教職員および本学関係者を対象に、1日あたり最大60件のペースでPCR検査を実施(2021年7月現在)。検査だけでなく、感染防止や感染予防の啓発活動も行っています。

また、寮生、クラブ生、フィールドワークに参加する学生など、集団行動や学外者と接触する可能性がある場合は、必要に応じてPCR検査を実施しています。学生および受入れ先が安全に安心して活動が行えるように体制を整えています。



TOPICS 02 本学のDX推進計画が 文部科学省補助事業として選定

2021年3月

デジタル活用に対する教育現場の意識が高まる今、本学では学生の皆さんが成長を実感できる“質の高い学び”を実現するため、教育DXを推進しています。その中で、京都産業大学DX推進計画「学生の気づきと主体的な学びを促進するデータ駆動型教育の実現」が、文部科学省の「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に選定されました。本事業は、私立大学では122件の申請があり本学を含む24件が選定されています。

TOPICS 03 ワンキャンパスの魅力を発信する 特設Webサイトがオープン

2021年3月

本学の特色の一つである、全学生約15,000人が集うワンキャンパス。その魅力を広く発信するWebサイト「ONLY ONE CAMPUS」特設ページを3月に公開しました。文系・理系が融合する環境だからこそ生まれる多彩な出会い、多くの人とのつながりから伸ばす自らの個性。それぞれが目標達成や夢の実現を目指して、明るく前向きに新しいことに挑戦する姿をお届けしています。学生・教職員たちによる“ONLY ONE ポーズ”にもご注目ください。



TOPICS 04 京都の豊かな自然に囲まれた 新たな学び舎「天地館」

2021年9月(予定)



9月中旬に竣工する「天地館」は、随所に神山の自然豊かな風景とキャンパスライフの充実を重視し、教室の他にも憩いの場や厚生施設を設けています。1階には、エントランスに全天候型の大屋根広場を設け、北壁には、荒木総長の著書である「大宇宙の旅」の12星座をあしらったレリーフを設置しています。他にも、コンビニエンスストアや文具等を販売する売店、住まい紹介の指定宅建業者が入っています。2～4階には大教室を配置しました。また、キャンパス北側エリアの最上段角地となるテラスは、神山を一望できるほか、神山球技場を見下ろせる位置にあり、四季折々の季節を感じることができます。

学生が1年を通じて京都の自然と風景に親しみながら、友人・教職員と語り合い充実した時間が過ごせるよう、さまざまなアイデアを盛り込んだ校舎にしています。

TOPICS

教育

三条大橋の魅力伝えたい！ 京都市と協働でPR活動を展開

現代社会学部

2021年4月



鈴木康久ゼミ「三条大橋チーム」が、豊田秀吉が架設した三条大橋のPR活動を展開。課題解決型学習の一環として京都市から課題を受け、ジグソーパズルをモチーフにした三条大橋のポスターと、そのポスター図案を用い、酒造メーカーの日本酒とコラボレーションしたラベルを作成しました。ポスターは4～5月に京都市営地下鉄の駅構内などに掲示され、日本酒は京都市のふるさと納税返礼品となっています。

研究

ミトコンドリア外膜の仕組みを解明。 英国科学誌「Nature」(オンライン版)に掲載

生命科学部

2021年1月・7月



遠藤斗志也教授らの研究グループが、ミトコンドリアの外膜にまつわる研究において、パレル(円筒)型膜タンパク質を組み込む新規の仕組みを解明し、英国科学誌「Nature」(オンライン版)に掲載されました。今回の解明により、新たな病気の治療法の開発や老化を防ぐなどの可能性が開けることが期待されます。また、7月にはタンパク質科学の基礎研究の分野において格別の功績をあげた個人に贈られる「ハンス・ノイラート賞」を受賞されました。日本人2人目の快挙となります。

社会連携

地域課題を共に考える中で生まれた、 学生発の地産地消ドーナツ

地域交流

2021年1月



学生団体「みらい発信局おむすび〜静原応援隊〜」と経営学部中野幹久ゼミ生が共同で、本学に近い静原神社の御奉納米「しめ縄もち米」を原材料にした「しめなわドーナツ」を開発しました。ドーナツには静原産の大豆を使ったきなこや柚子ピールを配合。農業の衰退や地域の伝統行事の担い手不足という地域課題を発信する一助となる、地域×学生×大学のつながりを具現化した商品となりました。



NEWS

教育

アフリカの「リアルな今」を知る。 JETROより講師を招きライブ講義を実施

国際関係学部

2021年5月



植原行洋ゼミでは、JETRO(日本貿易振興機構)から講師を招き「世界オンライン会議〜アフリカの今〜」をオンラインで実施。南アフリカ、ナイジェリア両国の政治・経済の現状と課題、COVID-19パンデミックにおける現地の方々の生活状況について学びました。コロナ禍が続く、海外渡航が出来ない現状下において、海外の最新情報に触れることができる貴重な機会を提供しています。

研究

「日本文化における自然観」 オンライン・シンポジウムを開催

日本文化研究所

2021年2月

京都文化を中心に研究を進める日本文化研究所が、設立25周年を記念し、オンライン・シンポジウム「日本文化における自然観」を開催しました。第一部は、華道池坊次期家元の池坊専好氏の講演、そして第二部では、日本文化研究所特別教授の杉子女王殿下と池坊専好氏の対談を実施しました。特にコロナ禍の影響で人々の自然観が問われる今、自然観を見直す機会を参加者へ提供しました。



スポーツ

硬式野球部2名が、関西六大学野球で 最優秀投手賞・ベストナイン賞を受賞!

課外活動

2021年5月



関西六大学野球連盟春季リーグ戦で最優秀投手賞に北山巨基さん(経済・4年次)、ベストナイン賞に遠藤秀太さん(経営・3年次)が選ばれました。北山さんは、今秋のドラフトで上位指名が期待されており、注目されています。

卒業生インタビュー

MESSAGE

一度は深い絶望に襲われながらも、
挑戦し続けることで自分の生きる道を見つけた。

今年の、電車内や駅、Webサイトで京都産業大学のポスターをご覧いただいたことはありますか？
4月から、受験生への応援メッセージを書きイラストで表現しているのが、私「たけ」と河村武明です。
2022年には詩画家として20周年を迎えますが、実は学生時代には、絵や書を表したことは全くありません。
そんな私が詩画家として生きることを決めたのは、ある出来事がきっかけでした。



学生時代から抱いていた 表現のプロへの憧れ

私の父は昔から歌が大好きな人です。80歳を超えた今も、地元のコーラス部で楽しそうに合唱しています。そんな父の影響か私も歌が大好きで、小学生の頃からギターを弾いて歌っていました。中学・高校時代は友人とバンドを組み、京都産業大学に入学後に広大なキャンパスの中で最初に訪ねた場所は軽音楽部の部室でした。部活動に遊びにアルバイトにと、青春を謳歌した学生時代。楽しい記憶ばかりです。今も付き合いのある一生の仲間を得ました。バンド内では当時から作詩、作曲を手がけ、表現することに生きがいを感じていました。京都にはプロミュージシャンを育てた老舗ライブハウスがいくつもあり、そこでライブをすることにたまらなく興奮して。少しずつ「いつか表現のプロになりたい」という夢を膨らませていたように思います。

サラリーマンになっても 音楽活動の楽しさが忘れられない

大学を卒業した私は、大阪の上場企業に入社しました。でもサラリーマンとしての日々の中、音楽の楽しさがどうしても忘れられなかったんです。そして「自分に会社勤めは合わない。音楽の道へ進む」と決めた会社員2年目の終わりに、仕事を辞めました。最初こそ不安定な生活が続きましたが、幸いにも仲間にも恵まれて、じわじわと地元・京都で知名度を上げていきました。「このまま一生歌い続けていく！」と夢に近づいていたはずだったのですが……。2001年、34歳だったある日、人生を変える出来事が起こりました。

脳梗塞と重い後遺症。 絶望の先に気付いた幸せの在り方

その時のことは、今でも昨日のこのように鮮明に覚えています。私は、脳梗塞を発症して倒れました。人生の中で一番インパクトが

あった体験です。一人暮らしだったこともあり、発見されたのは2日後。一時は生死の境をさまよい、目覚めた時には重い障害が残っていました。失語症、聴覚障害、発音が困難になる構音(こうおん)障害、そして右手麻痺。歌うことも聴くことも、ギターを弾く右手も、得意分野の全てを失ってしまったのです。

ご存知でしょうか。本当の絶望に直面した時、周りの景色がモノクロになるのです。声の出し方が分からない、言葉を忘れてしまった、右半身が動かない……。なぜ私がこんなことに？ くり返し絶望が襲いました。「しゃべれる薬があれば、右手が動く薬があれば1億円でも買うのに」「ありふれた日常の全てが幸せだったんだなあ」そんな風に考えながら、34歳で自分の人生は終わったと思っていました。

しかし、しばらく経ったある時にふと気付きました。今望むもの全てを持っていた私は、初めから幸せだったのではないかと、それ

まで言葉を聞き分けられることにも、両手が動くことにも感謝したことがありませんでした。でも「人って産まれた時からありがとうで埋め尽くされてるやん!」。幸せとは、手に入るものでも望むものでもなく、気付くものなのだ……。次の瞬間から、不思議なことに周りの景色もだんだんと色のある世界に戻りました。そして同時に、感謝の気持ちが大事なことにも気付かされました。

学生時代からの夢だった 表現の道への再チャレンジ

幸せに気づいた私は、気の持ち方が変わりました。そして発症から2か月後、左手で絵が描けることを発見。絶望の淵から、希望を見つけた瞬間です。それからは歌とギターを言葉と筆に替え、再び「表現」することが生きる力になりました。人生で最大のチャレンジとなったのは、京都の四条小橋で自作のポストカードを路上販売したことです。会話もままならない私でしたが、この道しかないかと覚悟を決めて路上に座り続けました。すると挑戦した甲斐があり、新聞やテレビで取り上げてもらい、人が集まるようになりました。それを励みに事務所を設立。屋号は「表現画房たけ」にしました。ここでやっと、学生

時代からの夢「表現のプロ」の道が開けたこととなります。大学卒業からは12年、障害者になって1年後のことです。

挑戦こそが 自分の可能性を広げる

路上販売を続けていたある日、思いがけないことが起きました。高島屋百貨店の方から声をかけてもらい、初めての個展を開催できることに。その後も幾度となく全国の高島屋で個展を開きながら、2020年2月にはニューヨークでの展示会開催も成し遂げました。また「自分の体験や思いのチカラ、感謝の大切さを伝えたい」と、妻の協力を得ながら全国の小・中学校で570回以上の講演を行ってきました。

これは聞いた話ですが、アメリカで80歳以上の人々に「人生で最も後悔しているのは何ですか?」とアンケート調査したところ、約70%の人が「チャレンジをしなかったこと」と答えたそうです。チャレンジなきところに成功なし、人生への満足なしということでしょう。振り返ってみれば、私は脳梗塞を発症してからずっと挑戦の人生でした。利き手ではない

詩画家

河村 武明さん

TAKEAKI KAWAMURA

1991年 経済学部 経済学科 卒業



PROFILE

1967年生まれ、徳島県出身。子どもの頃から音楽が大好きで、大学時代も友人と共にバンド活動に励む。卒業後、一度は上場企業に入社したものの、夢を諦めきれず路上音楽活動へ転向。「たけかめ」というユニットで精力的に活動をする中、突然の病に襲われ重い後遺症を抱える。しかし発症から2か月後、残った左手で絵が描けることを発見してからは、音楽家から詩画家への転向を決意し路上販売を開始。その作品が話題を呼び、これまで全国で個展を開催。また「ありがとうのパワー」を伝えたいという気持ちから、小中学校などでの無料の「無口」な講演を多数実施してきた。企業広告、雑誌の連載執筆など、その活動は「日本一無口な路上の絵売り」(たけ氏曰く)の域を超えて広がりを続けている。2021年4月から、京都産業大学の交通広告ポスター「頑張る受験生を応援」でコラボレーションを展開中。

受験生に贈る応援メッセージ

不屈の「たけ」

イラスト・動画はこちらから



左手で絵を描き、言葉の聞き取りができなくてもプロの画家として商売を続けています。そしてそんな人生に生きがいを感じています。夢だった表現者として生きられるようになったのは、自分の中の常識を取り払い、自分の枠を決めつけず、挑戦し続けたからこそです。

今、大学でさまざまなことに触れるチャンスがある学生の皆さんにも、ぜひ自分の枠を決めずに前へ進んでほしいと思います。何でもやってみる、何でも挑戦する。そこから自分の道が開けます。そして保護者の皆様、そんなお子さん達を長い目で見守ってください。私が「表現者・たけ」になるには、大学卒業から12年かかりました。夢を叶えるために挑戦し続けられたのは、大好きな家族の応援があったからです。





学校法人京都産業大学は、京都産業大学、附属中学校・高等学校、すみれ幼稚園を擁する総合学園です。大学においては、ブランドデザイン『神山STYLE2030』にもとづき、2020年度は「教育制度・課程の実質化(具現化)」を基本方針に、教育の改革・改善とそれを支える学生支援や研究推進、社会連携、教育環境整備を継続して行いました。常にかかるといえる時代であろうとも、社会から高く評価され「選ばれる大学」であり続けるために、幅広い素養を身に付けて実社会で活躍できる人材を輩出する私立大学として、教育・研究・就職を含む学生支援と社会貢献活動において、一層の“質的向上”に注力しました。

また環境整備に関しては、フィールドワークと地域連携の活動拠点として「町家 学びテラス・西陣」を開設。安全・安心でかつ快適な環境づくりのため、天地館の建設や大教室棟の改修等のキャンパス整備も推進しました。

2020年度 事業活動収支計算書

当該年度内で行った諸活動に伴う収入・支出の内容と収支バランスを明らかにし、学校法人の経営状況を示しています。

(単位:千円)						
	科目	本年度決算	前年度決算	増減		
教育活動収支	事業活動 収入の部	学生生徒等納付金	17,535,060	16,561,860	973,200	
		手数料	933,658	1,159,338	△ 225,680	
		寄付金	292,710	189,839	102,871	
		経常費等補助金	2,961,289	2,251,931	709,358	
		付随事業収入	277,890	372,791	△ 94,901	
		雑収入	704,210	592,621	111,589	
		教育活動収入計 ①	22,704,817	21,128,382	1,576,435	
		事業活動 支出の部	人件費	11,049,415	10,767,259	282,156
			教育研究経費	8,648,745	7,466,295	1,182,449
			管理経費	1,382,500	1,524,770	△ 142,270
	徴収不能額等		193	108	85	
	教育活動支出計 ②	21,080,853	19,758,432	1,322,420		
	教育活動収支差額	1,623,964	1,369,949	254,015		

(単位:千円)					
	科目	本年度決算	前年度決算	増減	
教育活動外収支	事業活動 収入の部	受取利息・配当金	411,178	433,380	△ 22,203
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計 ③	411,178	433,380	△ 22,203
	事業活動 支出の部	借入金等利息	43,937	47,342	△ 3,405
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計 ④	43,937	47,342	△ 3,405
		教育活動外収支差額	367,240	386,038	△ 18,798
		経常収支差額	1,991,205	1,755,987	235,217

(単位:千円)						
	科目	本年度決算	前年度決算	増減		
特別収支	事業活動 収入の部	資産売却差額	2,347,000	0	2,347,000	
		その他の特別収入	449,965	543,987	△ 94,022	
		特別収入計 ⑤	2,796,965	543,987	2,252,978	
		事業活動 支出の部	資産処分差額	83,699	234,975	△ 151,276
			その他の特別支出	0	0	0
			特別支出計 ⑥	83,699	234,975	△ 151,276
	特別収支差額	2,713,265	309,012	2,404,253		
	(予備費) ⑦	—	—	—		
	基本金組入前当年度収支差額	4,704,470	2,064,999	2,639,471		
	基本金組入額合計	△ 2,012,000	△ 1,984,269	△ 27,731		
	当年度収支差額	2,692,470	80,730	2,611,740		
	前年度繰越収支差額	△ 12,095,566	△ 12,176,296	80,730		
基本金取崩額	2,194,943	0	2,194,943			
翌年度繰越収支差額	△ 7,208,153	△ 12,095,566	4,887,413			
(参考)						
事業活動収入計(①+③+⑤)	25,912,959	22,105,749	3,807,210			
事業活動支出計(②+④+⑥+⑦)	21,208,489	20,040,750	1,167,739			

2020年度 資金収支計算書

当該年度内で行った諸活動に伴う資金の動き全てを記録することで、収入・支出の内容を明らかにし、翌年度に繰り越す支払資金(現金・預金)を示しています。

(単位:千円)				
	科目	本年度決算	前年度決算	増減
収入の部	収入の部			
	学生生徒等納付金収入	17,535,060	16,561,860	973,200
	手数料収入	933,658	1,159,338	△ 225,680
	寄付金収入	267,886	173,785	94,100
	補助金収入	3,335,520	2,764,862	570,658
	資産売却収入	5,100,000	0	5,100,000
	付随事業・収益事業収入	277,890	372,791	△ 94,901
	受取利息・配当金収入	448,195	473,075	△ 24,880
	雑収入	703,622	591,096	112,526
	借入金等収入	0	2,000,000	△ 2,000,000
	前受金収入	3,122,231	3,217,800	△ 95,569
	その他の収入	4,318,506	2,749,741	1,568,765
	資金収入調整勘定	△ 5,134,512	△ 3,879,780	△ 1,254,732
	収入小計	30,908,056	26,184,569	4,723,487
	前年度繰越支払資金	9,260,587	8,562,927	697,660
	収入の部合計	40,168,643	34,747,496	5,421,147

(単位:千円)				
	科目	本年度決算	前年度決算	増減
支出の部	支出の部			
	人件費支出	11,026,604	10,782,663	243,941
	教育研究経費支出	5,884,881	4,851,935	1,032,945
	管理経費支出	1,182,790	1,342,081	△ 159,291
	借入金等利息支出	43,937	47,342	△ 3,405
	借入金等返済支出	692,640	596,360	96,280
	施設関係支出	2,384,732	5,060,835	△ 2,676,104
	設備関係支出	296,869	608,255	△ 311,387
	資産運用支出	3,654,220	2,466,555	1,187,664
	その他の支出	1,546,932	2,119,126	△ 572,194
	(予備費)	—	—	—
	資金支出調整勘定	△ 814,584	△ 2,388,245	1,573,661
	支出小計	25,899,020	25,486,909	412,111
	翌年度繰越支払資金	14,269,623	9,260,587	5,009,036
支出の部合計	40,168,643	34,747,496	5,421,147	

※単位未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

学校法人会計について

学校法人会計と企業会計の違い

企業の目的は営利です。一方、学校法人は教育研究が最大の目的です。そのため企業会計における損益計算とは異なり、収支のバランスと財政状態を正しく捉え、大学の永続的發展を目指します。

学校法人会計基準とは

私学助成を受ける学校法人が適切な会計処理を行うための統一的な会計基準として文部科学省令により1971年に定められたものです。

基本金とは

学校法人がその諸活動を継続的に行うための資産のうち、自己資金で賄った固定資産の取得価額や将来取得する固定資産に充てる積立金、特定目的(奨学事業等)に使用する基金等の額を表すものです。

2020年度 貸借対照表

当該年度末時点での資産・負債・純資産(基本金及び繰越収支差額)の内容を明らかにし、学校法人の財政状態を示しています。

		(単位:千円)		
	科目	本年度末	前年度末	増減
資産の部	土地	27,076,564	29,780,254	△ 2,703,690
	建物	38,250,252	38,783,906	△ 533,654
	構築物	2,288,749	2,555,806	△ 267,058
	教育研究用機器備品	1,540,100	1,872,718	△ 332,617
	管理用機器備品	371,685	370,201	1,484
	図書	7,272,448	7,258,675	13,773
	車両	4,843	6,548	△ 1,705
	建設仮勘定	957,821	151,731	806,090
	有形固定資産計	77,762,462	80,779,839	△ 3,017,377
	引当特定資産	47,836,654	46,822,066	1,014,588
	特定資産計	47,836,654	46,822,066	1,014,588
	施設利用権	832	983	△ 151
	長期貸付金	280,533	291,473	△ 10,940
	貸与奨学金	11,003	16,442	△ 5,440
	有価証券	10,000	10,000	0
差入保証金	6,350	6,350	0	
その他の固定資産計	308,718	325,248	△ 16,531	
固定資産計	125,907,834	127,927,153	△ 2,019,319	
現金預金	14,269,623	9,260,587	5,009,036	
未収入金	897,216	1,244,904	△ 347,688	
短期貸付金	11,510	11,489	21	
貸与奨学金	4,513	6,891	△ 2,379	
前払金	409	1,153	△ 744	
立替金	37	74,464	△ 74,428	
流動資産計	15,183,308	10,599,489	4,583,820	
合計	141,091,142	138,526,642	2,564,500	

		(単位:千円)		
	科目	本年度末	前年度末	増減
負債及び純資産の部	長期借入金	4,597,560	5,290,200	△ 692,640
	退職給与引当金	4,604,984	4,582,174	22,810
	長期未払金	2,139,641	2,338,922	△ 199,281
	固定負債計	11,342,186	12,211,296	△ 869,110
	短期借入金	692,640	692,640	0
	未払金	1,012,797	1,190,193	△ 177,397
	前受金	3,122,231	4,237,800	△ 1,115,569
	預り金	377,764	355,658	22,106
	流動負債計	5,205,432	6,476,292	△ 1,270,860
	負債の部合計	16,547,618	18,687,587	△ 2,139,970
	第1号基本金	115,806,642	115,997,585	△ 190,943
	第2号基本金	5,264,036	5,256,036	8,000
	第3号基本金	9,500,000	9,500,000	0
	第4号基本金	1,181,000	1,181,000	0
	基本金 合計	131,751,677	131,934,620	△ 182,943
翌年度繰越収支差額	△ 7,208,153	△ 12,095,566	4,887,413	
純資産の部合計	124,543,524	119,839,054	4,704,470	
合計	141,091,142	138,526,642	2,564,500	

※単位未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

2020年度「決算」まとめ

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一部事業計画の追加や変更、見直しなどによる特殊要因はあったものの、財政状況については、収支均衡を維持するとともに、適切な財務運営を進めることができました。ここでは「決算」の概要を事業活動収支計算書を基に説明します。事業活動収入は、前年度と比較して38億700万円増加し、259億1,300万円となりました。これは学部・学科等の新設・再編による学生生徒等納付金の増加や国の高等教育修学支援制度の新設による国庫補助金の増加、土地の売却による資産売却差額の計上等によ

るものです。事業活動支出は、前年度と比較して11億6,800万円増加し、212億800万円となりました。これは、新型コロナウイルス感染拡大に伴い本法人が設置するすべての学校の学生、生徒、園児に対し支給した「修学支援金」や国の高等教育修学支援制度の新設による奨学費の増加等によるものです。また、PCR検査センターの設置や感染防止対策など、安心安全なキャンパス作りを要した経費を計上しました。今後も財政基盤の安定化を目指すとともに、学修環境や課外活動など学生生活が一層充実したものとなるよう努めてまいります。

2021年度 予算

BUDGET

新型コロナウイルス感染症対策

学生が安全・安心な学生生活を送れるよう、
本学では引き続き、より良い環境づくりを進めています。

2021年度 事業活動収支予算書

(単位:千円)			
科目	本年度予算	前年度予算	増減
収入の部			
学生生徒等納付金	17,796,247	17,466,130	330,117
手数料	914,365	899,357	15,008
寄付金	135,577	247,089	△ 111,512
経常費等補助金	2,825,407	2,893,435	△ 68,028
付随事業収入	343,748	381,466	△ 37,718
雑収入	655,380	626,231	29,149
教育活動収入計 ①	22,670,724	22,513,708	157,016
支出の部			
人件費	10,846,675	11,005,444	△ 158,769
教育研究経費	8,970,475	9,503,342	△ 532,867
管理経費	1,571,518	1,507,132	64,386
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計 ②	21,388,668	22,015,918	△ 627,250
教育活動収支差額	1,282,056	497,790	784,266
収入の部			
受取利息・配当金	408,702	430,580	△ 21,878
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計 ③	408,702	430,580	△ 21,878
支出の部			
借入金等利息	39,562	43,937	△ 4,375
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計 ④	39,562	43,937	△ 4,375
教育活動外収支差額	369,140	386,643	△ 17,503
経常収支差額	1,651,196	884,433	766,763
収入の部			
資産売却差額	0	2,347,000	△ 2,347,000
その他の特別収入	209,630	220,583	△ 10,953
特別収入計 ⑤	209,630	2,567,583	△ 2,357,953
支出の部			
資産処分差額	53,270	42,678	10,592
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計 ⑥	53,270	42,678	10,592
特別収支差額	156,360	2,524,905	△ 2,368,545
(予備費) ⑦	300,000	100,000	200,000
基本金組入前当年度収支差額	1,507,556	3,309,338	△ 1,801,782
基本金組入額合計	△ 3,587,211	△ 2,012,000	△ 1,575,211
当年度収支差額	△ 2,079,655	1,297,338	△ 3,376,993
前年度繰越収支差額	△ 8,596,669	△ 12,095,566	3,498,897
基本金取崩額	0	2,201,559	△ 2,201,559
翌年度繰越収支差額	△ 10,676,324	△ 8,596,669	△ 2,079,655
(参考)			
事業活動収入計(①+③+⑤)	23,289,056	25,511,871	△ 2,222,815
事業活動支出計(②+④+⑥+⑦)	21,781,500	22,202,533	△ 421,033

2021年度 資金収支予算書

(単位:千円)			
科目	本年度予算	前年度予算	増減
収入の部			
学生生徒等納付金収入	17,796,247	17,466,130	330,117
手数料収入	914,365	899,357	15,008
寄付金収入	119,754	232,410	△ 112,656
補助金収入	2,995,920	3,064,183	△ 68,263
資産売却収入	0	5,100,000	△ 5,100,000
付随事業・収益事業収入	343,748	381,466	△ 37,718
受取利息・配当金収入	442,008	466,158	△ 24,150
雑収入	655,380	626,231	29,149
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	2,933,590	2,946,458	△ 12,868
その他の収入	3,376,755	3,604,128	△ 227,373
資金収入調整勘定	△ 3,559,375	△ 4,642,793	1,083,418
収入小計	26,018,392	30,143,728	△ 4,125,336
前年度繰越支払資金	12,879,438	9,260,587	3,618,851
収入の部合計	38,897,830	39,404,315	△ 506,485
支出の部			
人件費支出	10,875,882	11,005,351	△ 129,469
教育研究経費支出	6,194,693	6,810,043	△ 615,350
管理経費支出	1,362,436	1,311,920	50,516
借入金等利息支出	39,562	43,937	△ 4,375
借入金等返済支出	692,640	692,640	0
施設関係支出	3,552,408	2,212,729	1,339,679
設備関係支出	706,978	472,923	234,055
資産運用支出	3,496,902	3,498,841	△ 1,939
その他の支出	1,007,278	992,692	14,586
予備費	300,000	100,000	200,000
資金支出調整勘定	△ 990,555	△ 616,199	△ 374,356
支出小計	27,238,224	26,524,877	713,347
翌年度繰越支払資金	11,659,606	12,879,438	△ 1,219,832
支出の部合計	38,897,830	39,404,315	△ 506,485

*単位未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

2021年度「予算」まとめ

2021年度は費用対効果を重視し、徹底した支出削減を行うとともに、重点施策に資金を優先的に配分した予算編成としました。これらを踏まえた2021年度「予算」の概要を事業活動収支予算書を基に説明します。事業活動収入は、前年度と比較すると22億2,300万円減少し、232億8,900万円を計上しています。これは、学部・研究科の設置・再編及び収容定員増の学年進行に伴う学生数の増加等による学生生徒等納付金の増加を見込んでいた一方で、前年度は特殊要因である土地等の売却に伴う特別収入を計上していたためです。事業活動支出は、217億

8,200万円を計上しています。教育研究経費では、授業関連経費や学生への経済的支援、安心安全なキャンパス整備等に重点的に予算を配分し、管理経費では、PCR検査センターの運営に伴う実施経費を新たに計上しています。今後も学生の意欲的な学びを促す教育や、学生の個性やニーズに応じた進路・就職支援の推進などに加え、経済的に困窮している学生への経済的支援も引き続き行います。感染症対策に全力で取り組み、学生一人ひとりが安全かつ安心して学生生活を過ごせるよう努めてまいります。

昨年度から継続の取り組み

✓ 検温所の運用

学内への入構ルートを限定し、神山ホール1階にてサーモカメラによる検温を実施しています。また定期的に、厚生労働省が提供する新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の導入促進キャンペーンを実施しています。その時は、検温所の通過時、アプリ画面を提示してから入構してもらうなど、インストール率の向上を図っています。



✓ 飛沫防止パネル増設、密接回避

食堂をはじめ、学内各所のテーブルに飛沫防止パネルを設置しています。ベンチには十分な間隔を確保するための張り紙を実施。一部には、張り紙の代わりとして、キャンパス敷地内の竹を利用したオブジェを設置するなど景観にも配慮しています。



✓ 消毒の徹底

各建物の入り口に手指用消毒液を設置。また授業に使用する教室をはじめ、廊下・階段の手すり、エレベーター内のスイッチなど共用部の消毒を毎日実施しております。消毒・除菌用品に関しては常に必要な数を確保するよう努めています。



学内PCR検査センターの運用状況について

2020年11月末から始動した同センターでは、本学学生、教職員および本学関係者を対象に、1日あたり最大60件のPCR検査を実施しています(2021年7月現在)。1回あたりの費用は900円(税込み)。前日までにWeb予約するシステムになっており、帰省時期や連休の前後は予約が増える傾向にあります。また、感染防止や感染予防についての啓発活動も行い、学生の安全・安心をサポートしています。

秋学期の授業について

引き続き、①オンラインで行う授業、②対面で行う授業、③オンラインと対面を組み合わせた授業の3つの形態で実施していきます。感染状況やワクチン接種率などを考慮しながら対面授業を徐々に増やす方針ですが、一部オンライン形式が適していると考えられる授業(大規模教室での座学など)もあるため、柔軟に対応していきます。

経済的支援策について

新型コロナウイルス感染拡大の影響等により経済的な不安を抱えている保護者の方は、大学にご相談ください。各種奨学金や就学支援制度についてご案内できます。本誌の裏表紙にご相談窓口の一覧を掲載しています。

クラブ活動について

本学独自の課外活動ガイドラインを制定し、それに基づき安全に活動できると学生部が認められた場合に限り活動を許可しています。また、公式の大会やコンクール等へ参加する場合は、感染防止を盛り込んだ活動計画書を学生部へ提出のうえ承認を得ることとしています。各クラブには「感染防止拡大責任者」を置きクラブ内の感染防止の徹底を図っています。

2021年度からの新しい取り組み



✓ 黙食の推奨

ポスターの掲示とともに、お昼の時間帯には職員と有志の学生による啓発活動を実施しています。プラカードを持って食堂や広場を巡回し、時には声かけも。黒坂光学長も日課として参加しています。

✓ 食堂の混雑対策にWebカメラを導入

各食堂に、スマートフォンなどで店内の混雑状況が確認できるWebカメラを設置しました。混雑気味の食堂を回避する、時間をずらすなど、学生に食堂利用時の選択肢を提供しています。またカメラは、映り込む個人が特定できないよう配慮されています。



学内でのワクチン接種について

7月16日から、神山ホール3階で新型コロナワクチンの大学拠点接種を開始しました。本学学生、教職員および学内で働くスタッフを対象に、希望者に向けて順次接種を進めています。秋学期の授業開始までに希望者全員のワクチン接種を完了する予定です。

